

一生成香 No11「鹿児島東分区IMIに参加して」

研修リーダー 菊地 平

去る2月7日(土)鹿児島東分区IMIに参加し、講演もしてきましたので感想を述べてみます。

日時 2月7日(土)9:30～12:40

会場 鹿屋体育大学 水野講堂 登録費 1000円(全員登録)

参加 8クラブ 参加人員 160名(在籍会員 295名)参加率 54%

そもそもIMって、何? == Intercity Meeting の頭文字で、近隣都市のクラブで実施する都市連合会のことです。分区単位でのクラブや、大都市の場合はその都市内の数クラブの会員が集まり、合同で行う自由討論会です。

決議や決定は無く、IMの出席はメイクアップとなります。

その目的は、第一に会員相互の親睦と面識を広めること。また会員にロータリーの情報を伝えると共に、りっぱなロータリアンの育成にあります。そのために、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合です。

討論の主な内容は、5大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。この会合の大切な目的は、会員相互の親睦と知識を広めて、時には懇親会も併せて開催もされます。

～かつては、I・G・F(Intercity General Forum)と呼ばれて全般的な討論の場でしたが、今も新会員にお勧めの勉強会と言えます。

～～

さて、今回のテーマは「ロータリーモーメント・ロータリーに輝きを」でありました。RIの年度テーマをそのまま、大会テーマとされました。手続き要覧には規定がありませんから、ガバナーの推奨テーマとしているようで、地区内同じテーマのほうが良いと思います。

また、分区ごとの開催が習慣でしたが、ここ5年ぐらいは宮崎県・鹿児島県といった県別合同のもの

なっていました。

例えば、奄美 RC が主管で鹿児島県合同 IM が開催されまして、それなりの成果はありましたが、参加者数に問題があったように、遠隔地になりますと参加コストが気になるところです。

やはり分区単位で、ガバナー補佐の力の発揮場でもあってしかるべし。とのガバナー補佐の意向も配慮されたものとして、5年ぶりに開催でしたが、身近に開催されて、本来の IM になったと、思いました。ガバナー補佐の中には分区の取りまとめが大変なので〜と。他力本願を願う方もいる訳で、ガバナーが命令できないだけに、地区も何かと大変だ〜と思った次第です。

第一本会議は「ロータリーモーメント」のテーマのもと、各クラブから一名計8名の 会員が発表しました。主に1年〜3年未満のフレッシュな感想がきけました。ある銀行支店長は「喜び、感動の出会いあり、未知なる人との出会いと奉仕の心を、掴むことができ学びの場を体験できた」〜住職の方は「ロータリー用語が理解出来なかったが、皆が必ず声をかけてくれて、誰もが自分を判ってくれようとする」豊かな日本でも自死する人が多いが判ってあげようとしなからではないか。ロータリーの心をモット広く〜」

父の2代目として入会した方は、さすがにロータリーが判っていて、職業奉仕の実践を自社で〜と。

地域に何を持って奉仕できるか〜自問自答する中で、地域町起こしに奉仕を見出した〜などなど、気負いのない、ロータリアンらしい新鮮さを感じました。

第2部は「ロータリーに輝きを」のテーマで、ベテラン8人に発表でした。

〜会員減少の問題、女性会員増強の責任、出席率向上、広報の重要性、ポリオ撲滅、例会の私語、などなど〜各クラブが抱える問題を自分のこととして、訴え、強く話をされて、納得できる話題を提供されていて、参加者自身が反省ややる気・勇気を戴いたと思います。

〜菊地は8年前にアクティングガバナーとして講演したこともあって、ライラも入れると3度目の講演となりました。参加できて幸せでした。

田中ガバナーもご出席されていて、実り豊かな IM になったと思います。

わがクラブは「宮崎全県 IM」として、3月14日・シーガイアでの開催です、是非参加しましょう。